

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	32-4	
PDCA	主要事業名	半田福祉ふれあいプール管理運営事業	部課名	教育部スポーツ課	担当	伊藤		
					内線	27-6663		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 2 単位施策： スポーツ 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 425,183 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.06.04.02.55						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 指定管理者による施設の維持管理を行う。また、1年中水に親しめる場を提供する。						
		事業目的： 故障のリスクのある機器を洗い出し修繕計画を実施し、引き続き施設を使用できるように改修する。						
		事業内容： 半田福祉ふれあいプールの管理運営を行う。						
		問題点・課題等： 設立当初に設備された機器が多く、熱源切替後の維持管理が非常に重要となる。						
	予算額	主要事業とする理由						
	140,499 千円	今後も半田福祉ふれあいプール利用者に安全・快適な利用環境を提供するため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	年間を通じ、水に親しめるスポーツをする機会を提供することができる。						
	105,554 千円							
	国費							
	0 千円							
	県費							
	0 千円							
	その他							
34,945 千円								
D 得られた成果と実績	決算額	得られた成果						
	148,851 千円	利用制限が続く中で、引き続き利用者が安心安全に施設を利用することができる環境を整備することができた。						
		成果指標						
						令和4年度	単位	
	施設利用者数	実績値	93,112		人			
		目標値	140,000		人			
	C 課題の整理	事業の評価・課題	C 施設利用者数の目標値を達成はできなかったが、令和4年度は、指定管理者が変わり新しい体制での運営が始まり、オリンピックの講演、eスポーツ体験などの開催により新たな顧客の開拓を行った。 今後、安定した利用者の確保を行うためにも、これまでの水泳教室、アクアビクス、リラックスヨガ等の自主事業も積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。 また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。					
		A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。 また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。 eスポーツ体験などプール以外の利用者の増進も図る。				
観点別評価	必要性		有効性		効率性			
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない	
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用